広報こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行 編集人 矢部藤三郎

長谷川鉄太郎氏の死を悼む

およそ人生の儚なきことを露の命と申します。故長谷川鉄太郎氏は一月二十三日こつねんとして地上七十八年の生涯に告別されて、西方浄土に出で発たれました。

あゝ悲しいかな、再びこの世で長谷川さんの面影に接することができなくなりました。

御一家御眷族様の御悲歎はさこそと御推察申し上ぐるものであります。

今はなき長谷川さんの御治績を回顧すれば、北蒲原郡加治川村大字金塚の長谷川家に孤々の声をあげられ、若くして青雲の志厚く、明治四十三年新潟県巡査を拝命、村松警察を第一に柿崎小出十日町と転任、大正十年小須戸警部補派出署長として赴任されました。その時、崇高なる人格手腕を買われておりましたが、一年半で六日町警察署長に栄転、爾来安塚署長、能生署長と歴任、大正十四年小須戸町の懇請もだし難く、意気に感じて小須戸町助役として御出で下さったのであります。

爾来幾星霜　斎藤、田中小柳、川村、村山各町長に仕え内助の大任を果たされたのであります。

こえて昭和二十六年小須戸町長に当選され、以来二期にわたり町長として町民の嘱望と信頼にこたえ、三校統合に教育の充実に渾身の努力を傾注され、県立病院の誘致創設に縦横の手腕をふるわれて成功し、町民の多年渇望されていました小須戸橋の永久橋架替に東奔西走、昨秋みごとに完成されました。一方激務の中、保護司に任命され、青少年の不良化防止に社会浄化に奉仕され、休養の暇もなく活躍されたのであります。

当時、町村合併の運動起こるや小須戸町は自主独立を宣言して、町民の希望を堅持しました。かくて与望を荷い町民の威寄らば大樹の下に憩うの安息感を与えた人でありました。敵千人味方千人の人格、実践窮行の人でありました。

今は父の精神を請け嗣ぎ善き父として、好き母として活躍されておられます。円満なる人格、実践

退職後は臥竜の間にあり、小須戸町文化財保存協会の会長として町の文化の開発に保存に貢献され、また商工会の設立に協力し、二年目にはモデル地区の指定を受ける発展をみたのであります。また、自民党支部の創設に尽瘁されて町の発展に寄与したのであります。家庭は三男五女の慈父として教育に完璧を期され善き父として、好き母として活躍されておられます。円満なる人格、実践窮行の人でありました。

永年にわたる功績がみのり、自治功労者として勲八等瑞宝章を授けられ更に藍授褒章、日本赤十字有功章と輝ける栄誉を得られたのであります。

以上のように小須戸町史上に不滅の記録を残された偉人とたゝえなければなりません。

永年にわたる功績がみのり、自治功労者として勲八等瑞宝章を授けられ更に藍授褒章、日本赤十字有功章と輝ける栄誉を得られたのであります。

いつもおくれるいやな人

新生活運動入選標語

敬する為政者として勤続を祈ったのでしたが、後進に道を拓くため、円満退職されたのであります

成人と法律

第一回

民法に於ても成人になるということは大きな意味をもつものですが、婚姻、親子の問題は成人になった人達には特に身近かなものと感ぜられるでしょう。

これから皆様と共に、これらの問題を考えてゆきたいと思います。

婚姻に関する問題で、まずとり上げなければならないのが、両性の平等ということでしょう。憲法第二四条の下に民法では完全に平等を実現しているといえますが、現実には社会的に経済的に決して平等とはいえず、これが婚姻の成立、夫婦関係、離婚という諸々の点にあらわれてきております。「足入れ」とか「樽入れ」という風習や現実には、まだまだ多い追出し離婚等が、如実に物語っているわけです。しかもこれらが根強い因習となって、若い人達の勇気や権利に目ざめたことだけでは、必ずしも解決できないという現実の姿を、卒直に認める必要があると思われます。

労働問題では、団結の力ということもありましょうが、こうした問題が事の性質上必ずしもそうしたものに親しまぬものです。こゝに私達は強力な法の力を借りることによって、名目だけの婚姻の自由になることを避けて自身の理想に従って婚姻の要件を定め、それに反する者には保護を拒絶しています。例えば現実に夫婦として生活していても、民法上は内縁として正当な夫婦としての権利を認められず、内縁の夫が死亡した場合、妻には相続権がなく、生まれてくる子供に嫡出性にも問題を生じ、場合によっては遂に非嫡出子（旧法でいう庶子や私生児）になることすらあるわけです。

こうしたことは、後に述べる婚姻の届出があるか否かによるわけです。

私達が面倒くさいということや、不注意から婚姻の届出がないというなら、私達の正しい理解により解決できますが、子供が生まれるかどうかとか、家風に合うかどうかという封建的な要求が入りこんでいるとしたら、やはり大きな問題だといわねばなりません。

こゝでは特に問題となる点をとりあげて、考えてゆきたいと思いますが私達が各人に正しい知識をもつことが、何よりも大切であることゝ存じます。

次回から婚約、内縁、婚姻と順をおってなるべく皆様に分り易く解説してゆきたいと思います。

成人おめでとう

町長　村山吉五郎

今年成人式を迎えられた皆様には誠におめでとう存じます。又此の度成人式に御参列の為にわざ〳〵遠方より参加下されたる方々には目出たいことであります。

さて今年は竜年であり出世の年といわれておりますので、此の年に成人式を迎えられることは御世の荒波を乗り越えて、立派に成功せられますよう、今日成人式を迎えられた諸君の御多幸を祈念申し上げてお祝いの言葉と致します。

人生は誠に弱いものではないでしょうか。世の荒波と困難に打ち勝つにはその修練の比例によって示されているようであります。大きな仕事もその成果も修練が足らないとある時は順調に運ぶ時があっても少しでもつまずくと、すぐくじけたり迷ったりして差てつを来たすものであります。皆さんは将来でき得るだけの修練を積み重ねられて、幸福の座に付かれ、永遠にその幸が安定継続せられるよう念願申し上げる次第であります。

乏しき私の体験から中し上げましても、何事もその経験から生まれ出る賜と確信致しております運だけでは決して成功するものではありません。人生は勉強の連続と修練であり、常にその修業と努力であります。どうか

の世の中に、ほとんど敵のないお方で、生きては生き神様、死んでは仏様小須戸が生んだ一大偉人でありました。

晩年趣味の生活に浸り一月二十一日の月並句会に出席されて詠まれた、

役得で昨日も今日も
新年会　一陽

これが辞世の句となりました。一万町民合掌して御仏の御冥福を祈ります

までは男性には徴兵検査があって、兵役の義務がありました。その際に男子は一人前になったという一つの区切りと考えられて、それ以後は本当の一本立ちと自他ともに認めて、何事も成人として扱われた時代がありましたが、当時私等は何かその徴兵検査ということが頭の上に重石をのせられたような感じでした。そのあと兵役に行かなくとも、四ヵ年間は毎年点呼に招集されて重圧を感じていたのでありますが、今の青年諸君にはそんなような何物もなく、伸び〳〵としたものでとても幸福であると存じます。女子の皆さんにも世柄が良くなって誠におめでとう存じます。

実績発表で一位

青少年婦人活動

去る一月十七日、新津青年研修所に於て新津地区青少年婦人活動実績発表会が開かれ、新津農業改良普及所内よりの発表者十組の内、本町より二組の参加をみましたが、他のすぐれた発表者を相手に日頃の研究をひろうした結果、本町より参加した「婦人学級の運営について」と題して発表した鎌倉婦人学級の松尾セツ、小柳すず子組が優秀賞で入賞した。

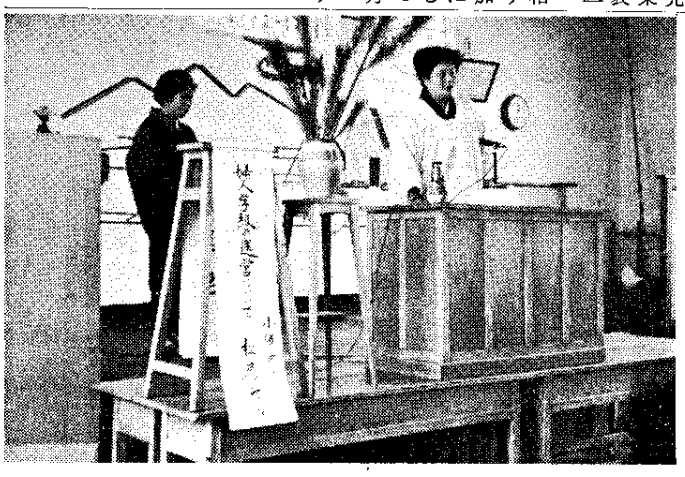
当日の成績は次の通り

紫リボン賞（一位）
「婦人学級の運営について」
鎌倉婦人学級
松尾セツ
小柳すず子

青リボン賞（二位）
「少年研修生の歩み」
新津少年研修生
野崎孝雄

「キウリの半促成栽培」
新津少年研修生
金沢正吾

赤リボン賞（三位）
「おれたちのサークル活動」
小須戸青年学級
青木達夫　他六名



発表中の鎌倉婦人学級生

今年の成人式

去る一月十五日午前十時より小須戸小学校に於て成人式が行なわれた。

今年の成人者は一三四名男子四八名、女子八六名であり、今年の成人式は村山町長の講演で十二時すぎ式は終わった。

理想と純粋さを いつまでも

＝成人の日によせて＝

成人の日に我々は「大人の仲間入り」とか「一人前」として祝福してもらったが、それは二十才の人間が秩序を尊び行動を自覚し、社会の一員としての資格を持つに至ったからであって、決して単に二十才だけの故ではない。こゝに我々は現実の社会に入る資格を認められると同時に、これからは現実に即応し、社会人としての務めを果たすことが厳しく要求されることになる。従って我々が最も注意せねばならぬのは、今や現実と理想の違いに、我々が直面したことであろう。

現代の青年は理想が小さいとよく言われる。小さな幸福、さゝやかな家庭と誠に小市民的な夢を持つ者が多いのは事実かもしれない。そして我々が理想と現実の相違について、実によく知っているのも又事実である。否知りすぎて、そして恐れていないだろうか？青年が彼の純粋さと理想を日常生活の隅々まで貫徹して、ことごとく社会と衝突するか、さもなくば社会から逃避するという結果になることの愚かさは言うまでもないが、されば言ってただ恐れ、理想を放棄するという解決の仕方も決して正当ではない。現実に生きてゆかねばならぬ我々には、理想を持つと言っても心の中の片隅に、やっとつかまえておくより他に方法はない。そして理想も夢も法律に、道徳に、習慣に十重二十重にとり囲まれて、身動き一つ出来ないのが本当の姿かもしれない。然し無用なものとしてガムを捨てるが如く放棄してよいものだろうか？、そして理想に反し信念を裏切るような行動を日々の生活で為さざるを得ない我々が、心の中に理想や信念を持つことは、人間として許されぬ欺瞞であろうか？。一体この大きな歴史の流れの中に、我々にとってはあまりにあっけない時の流れの中にあって、我々は如何にして「自分が生きている」ことを主張できるのだろうか？又振り返って自らの一生をどうして証明出来るだろうか。

信念によって貫かれ、良心によって導かれたが故に、自らの一生を見出すことができるものであると信じたい。勿論、二十年を生きたに過ぎぬ我々に、確固たる信念のあろうはずもないが、今我々がもつ青年の理想が、やがて確固たる信念となり人間の真の良心の基礎となるものが、青年の純粋さである。

権利意識、義務に対する責任感は勿論大切である。然し「一人前」になることが理想と純粋さを放棄した代償によるものであってはならない。

未成年だった昨日、我々が見、感じ、思ったことと、成年になった今日我々が感じ、思うことに天地の差があるわけでは決してない。我々は青年の理想をもった大人であるのです。それなのに祝いの品も持ち帰らず失わぬ大人でありたいと願うのである。さもなければ大人になり、成長してゆくことは単に処世術を身につけ、世を巧みに渡ることになってしまうのではなかろうか？

成年になることが、青年の理想と純粋さを夢を放棄することであってはならない。即ち成人の日が、青春の墓標を立てる日であってはならないと思う。

小林賢次

国体をむかえる県です 町をきれいに

〈あぶない自転車の無灯火二人乗り〉

みんなで正しい交通を守りましょう

なぎさ

成人の日によせて

現在の青年にかぎらずとかく若いときは、無理なことでもやりとおしてしまう。良いことにつけ悪いことにつけ……

去る一月十五日成人の日に、本町でも成人式が行なわれた。この日出席して気のついたことを一二のべて、今後の参考と少しでも反省をしようと思う青年諸氏があれば幸いと思い、一筆申し上げる次第であります。

「成人の日」は私どもの為にあるのではない。皆さん、これからの時代を受けて立つ若者たちにあるのです。その若者たちのため、町が祝ってあげているのです。それなのに祝いの品も持ち帰らずいらないからと会場において行く、はなはだおかしな考えの若者たちがいるものだと感じさせられたものであります。

みんなにかわって祝ってやろうと思う心より、なんだこのごろの若い者たちはと考えさせられるものです。これでいて民主主義のルールによって教えを受け、また自分たちも民主的にとすぐ口にする今の青年たちなのだろうかと考えざるを得ません。祝ってもらうことにしろ、またなんにつけすなおな気持で祝いを受けられないものなのでしょうか。

もう一つは式の最中にオーバーを身につけている青年男女があったことです。会場が大きすぎてとても寒いのであればしようがないでしょうが、会場も二教室分で火もあり、寒いというものではないはずです。成人の祝いもそこに集まっているあなたたち青年男女の為のものです。少し横着すぎる民主的青年男女ではないでしょうか。もう少しその目的をはっきりとつかみ、だれの為に、というものをみきわめてもらいたいと感じたものです。若いあなたたちです今後一層各方面で学び、次の世代の人となってもらうことを願いつつ。

県立新津高校 小須戸分校入試案内

◎出願登録　二月三日より十日　午後四時まで
◎登録結果発表　二月十三日
◎願書受付　二月十四日より二十一日　午後四時まで
◎考査料　三〇〇円
◎入試期日　三月十八、十九日午前九時より
◎試験場　新津高等学校
◎合格発表　新津市秋葉　新津高等学校　三月二十三日迄
※願書用紙請求、その他詳細は出身中学校又は直接小須戸分校へ照会下さい。
また出願登録をしないと受験できなくなりましたので御注意下さい。

ウデコキ橋など議決

十二月定例議会終わる

十二月定例議会が去る十二月二十四日招集された。承認案件四件と議案十件、請願四件に陳情一件が提案された。それぞれの案件に関して慎重審議され、それぞれ可決承認された。その案件については次のようである。

承認第一号

※公営住宅敷地埋立工事の専決処分の承認を求めることについて

小須戸町が本年度公営住宅を建設するに当たり敷地埋立工事につき契約の締結について議会の議決を求めるべき処、冬季に入り早急に着工し建築工事を進捗する必要があり議会を招集する暇がない為に、町長が三九八坪を七〇万円で東部運送(株)小須戸営業所と契約を専決処分したので、議会の承認を求めたものである

承認第二号

※公営住宅敷地埋立工事の専決処分の承認を求めることについて

小須戸町が公営住宅を建設するに当り、敷地埋立工事につき既決予算内に契約の締結を致したのであるが、更に予算残があるので明年度に建設する三十余戸の埋立工事を予算残の範囲内で、埋立工事の契約は二四三坪を、四六七、五四〇円で東部運送(株)小須戸営業所と契約を専決処分したので、議会の承認を求めたものである。

承認第三号

本年度公営住宅を建設するに当り、三月末迄に完成しなければならない処、降雪期を目前に控え早急に着工する必要があるので一戸九・五坪二十戸九八万円で吉田久衛、田巻一作両氏と契約したものである。

議案第一号

※議会議員給与条例の一部を改正する条件

議会議員の給与条件の中において、期末手当を月額報酬「百分の百九十」を「百分の二百」に改正したものである。

議案第二号

※小須戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

昨年十月一日付で人事院勧告にもとづき職員の給与改正を行なうもので、勧告内容に基いて通勤手当の最高額九百円に期末手当給与月額の「百分の百九十」を「百分の二百」に改め、勤勉手当給与月額の「百分の二百」を、「百分の三百」に改めた。その他給与表の改正等が行なわれたものである。

議案第三号

※小須戸町職員の期末手当加給に関する条例の制定について

昭和三十八年十二月十五日に支給する期末手当について、給与条例の定める処により三千円を加給するものである。

議案第四号

※小須戸町手数料条例の一部を改正する条例

小須戸町の手数料条例の中に次の三項を加えたものである。

一、急性灰白髄炎経口ホリオワクチン投与手数料

(1)住民税免税対象一人一回　無料

(2)住民税均等割額対象一人一回　十円

(3)住民税均等割以上対象一人一回　七十円

議案第五号

※小須戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法第三百十四条の二第一項二六号の所得金額九万円を越えない世帯に係る納税義務者で

(イ)被保険者均等割額（被保険者）一人につき　一二四円

(ロ)世帯別平等割額一世帯につき　五〇四円

次に地方税法第三百十四条の二第一項第六号の所得金額九万円に被保険者一人につき一万五千円を加算した金額をこえない世帯に係る納税義務者

(イ)被保険均等割額（被保険者）一人につき　一七六円

(ロ)世帯平等別割額一世帯につき　七〇六円

議案第六号

※橋梁架建設事業について

交通緩和と経済発展の為昭和三十九年度において左記によりウデコキ地内に橋梁架を架設することを議決した。

一、架設場所

右　岸

小須戸町大字小須戸字川原地内

左　岸

白根市大字下八枚地内

二、構　造

(1)鉄筋コンクリート、橋脚鋼管パイル造り

(2)延長　一六〇米

(3)橋巾　二米六〇（有効巾員一米）

三、取付道路

延　長　四〇一米

右　岸　二一九米

左　岸　一八二米

四、総事業費概算

二四、七五〇、〇〇〇円

議案第七号

※昭和三十七年度小須戸町一般、特別会計決算認定の件

後日全員による特別委員会を開催して審議を行なうことに決定された。

なお委員長　壺屋徳一

副委員長　森田吾一

請願の件

一、加茂暁星高等学校々舎建設補助交付請願

二、矢代田踏切から新津三条線の間の舗装

三、県道（四番町病院廻角）から病院前までの舗装

四、ウデコキ地内の道路舗装

右四件を採決し町長に対して善処方が望まれた。

陳情書

県立加茂農林高等学校々舎建設費負担交付の件

以上の案件が審議され、その他一般質問が三十五件程にのぼり、二十二日定例を閉会した。

一般、特別会計決算委員会が開催され、昭和三十七年度の各会計が認定された。

一般会計

歳入　一七、四一八、四三八円
歳出　一一、九九七、七四六円
差引　五、五一〇、六九二円

上水道会計

歳入　七、六六五、一五三円
歳出　七、四二七、三六六円
差引　二三七、七六七円

国保会計

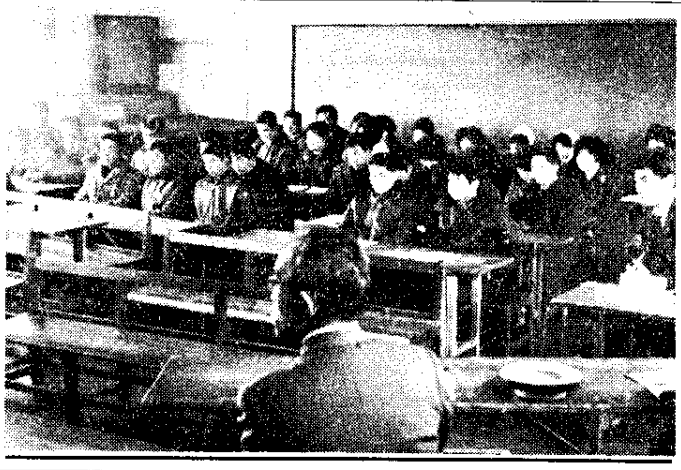
歳入　一七、〇八九、八〇八円
歳出　一五、三八三、四二五円
差引　一、七〇六、三八三円

災害公営住宅建設会計

歳入　二、四七六、〇〇〇円
歳出　二、四五五、九四〇円
差引　二〇、二六〇円

住民税整理資金

歳入　一七、〇九五、六七二円
歳出　一七、〇八一、五四三円
差引　一四、一三〇円



第九回青年大会より

みなさんおめでとう

町民囲碁将棋大会

去る一月二十六日午前九時三十分より町公民館二階で第三十二回町民囲碁将棋大会が開かれたがこの日集まった天狗たち二十数名で、一日楽しい大会で終わった。

他家へ招かれ、たんすまうといった次第。全くの底の大切な一ちょうらを着て外へ出た。

とたんに自動車が来る。道の片側へ寄って見送りほっとして歩き出すと、今度はバイクがビッビーン。「おっと危ない」また道の端っこへ。「もういいだろう」と再びテクリ出したら、お次は大型トラックのすぐ後からパスまでが続いて来た。

涙い道にでっかいやつが二台では、もう避けようかない。半身びっしょりと泥だらけで万事休す。

「こんちくしょう、気をつけやがれ、ばかやろう」とどなることが精一ぱい。（自動車番号をしっかり覚えておいて訴え出れば損害賠償はしてもらえるそうだが、番号を覚えるの暇も与えればこそ、忍者の如く雲を霞と消えてし

第9回青年大会終わる

小須戸町連合青年団主催小須戸町青年大会は、去る一月二十六日小須戸中学校で開かれたがこの日集まった青年男女約七十数名で、第一部意見発表は十単位部落団より発表し意見の交換をやったあと、第二部の部門では研究サークルの発表があり、第三部ではは楽しさを充分といったところで、みんなでゆかいにすごすというためでモギ国会を開いて、国会のフンイキを楽しんでいた。また今年度の青年団活動を活発に進めたいと話し合い、一日の大会を終った。

入賞者は次のとおりです

◉囲碁の部

一位　坂野清四郎
二位　山田啓一
三位　青木堅司
四位　小川久
五位　小川孝雄

◉将棋の部

一位　風間満治
二位　五十嵐末一
三位　川瀬米吉
四位　高野松一
五位　中村恭一

知っていますか　農地法の話

＝最終回＝

一、いろいろ許可を受けなければならないことが多いようですが手続きはどんな様式で、どこへすればよいのですか

許可を受けようとするときは、すべて農業委員会を通してすることになっていますから、農業委員会へ書類を出せばよいのです。申請の様式も農業委員会（小須戸町役場内）で教えてくれますからご相談下さい。

二、農地法にもとづく許可や不許可の処分が行なわれたが、それについてどうしても納得できない場合とか許可申請をしたが相当の期間を経過しても処分が行なわれない場合には、どうしたらよいでしょうか

農林大臣、県知事または農業委員会の行なった許可や不許可の処分が納得できない場合は、行政不服審査法（従来の訴願法に代わって昭和三十七年十月一日から施行されました）にもとづいて不服の申し立てをすることができます。

その方法としては処分をした行政庁の上級の行政庁（農業委員会の行なった処分については県知事、県知事の行なった処分については農林大臣）に対する「審査請求」あるいはその処分をした行政庁に対する「異議申し立て」をすることができまた「審査請求」に対する裁決に不服があれば「再審査請求」を認められる場合もあります。

こうした不服の申し立てについては、許可または不許可の書面に「この処分に不服があれば、どの行政庁に対して、いつまでに不服の申し立てをすることができる」ということを書き添えることになっています。

また許可申請をしたが相当の期間を経過しても処分が行なわれない場合も同様に「審査請求」あるいは「異議申し立て」ができます。

この申し立てがあると行政庁は処分をするか、または処分ができない理由を示さなければならないことになっています。

なおくわしいことについては、町役場農業委員会でおたずね下さい。

美挙二題

去る日、横町の佐藤万一さんより、父万太郎さん死亡に際し困った方々にと、社会福祉協議会へ金壱万円の御寄附があったのをはじめ、二番町の小見雄司さんより拾得物の御礼として頂いた五〇〇円も警察を通して御寄附があった。

当局ではこれらの行為に対して感謝している。

めいわくシリーズ（その六）あなぼこ道

泥水がなければ、はねるわけには行かないから、泥水をなくするのも考えるか、どうするかということにもなりかねない。

それにしても自動車が通るたびに泥水がはね上がるのは、運転手だけの責任ではなかろう。まず

であったころ「すべてのは道はローマに通ず」とも言われ、文化を求めて道は開かれ、文化は道によって流れて行ったのである。それからしても「道路をよくすることによって文化水準を上げる」ということも可能となろう。

昔、ローマ帝国が強大なかっぺ」とばかにされて平気でおれる者はいないし、ふんがいするのが当然だ。ところが「道が悪い」と言われても、あたりまえといった顔でいづちを打つ人は多い。これはどうしたものだろうか。やはり「程度が低い」為にピンとこないからだろうか。

狭い日本の中で、自動車に乗った者が、大きい気で歩く人に浴びせかけて歩く者は小さくなって道の片すみを通りながら、なおかつ泥水やほこりにまみれて、悪口を言うのが関の山といった状態で

が悪いで自動車をなくすわけには絶対にゆくまい。

そうすれば当然、泥水をためておくでこぼこをなくする方に落ちつくわけだが、この方はどうであろうか。

以前から「道路によって、そこの文化程度がわかる」と言われている。

昔、ローマ帝国が強大い」為にピンとこないか

全く自動車の数が増せば増すほど、でこぼこ道の穴ぼこが増すような、とでは、知恵の底が知れようというもの。現に歩く人が自動車を使う人より多い日本では、特に歩く人のめいわくにならないよう、自動車の通行に責任をもってもらいたいそれには、まず「照ればほこり、降れば泥水の穴ぼこ道」を早々に「長ぐついらず逃げることいらずの道」にしてほしい。

購入図書

◇相模国愛甲郡中津村　松本清張
◇涙が私を重くする　菊村到
◇女性皆時代を排す　村松剛
◇女ざかり　シモーヌ・ド・ボーヴォワール
◇光る海　朝吹登水子　二宮フサ訳
◇てっぺん野郎　石坂洋次郎
◇母系の海　石原慎太郎
◇風流公子　早船ちよ
◇結婚相談　鳴門秋一
◇絶叫するケネディ　円地文子
◇江分利満氏の優雅の生活　高村暢児編
◇季節病カレンダー　山口瞳
◇サコッは笑う　籾山政子
◇愛と結婚の思索　富永一朗
◇甲賀忍法帖　亀井勝一郎
◇江戸忍法帖　巻1　山田風太郎
◇飛騨忍法帖　巻2　〃
◇くノ一忍法帖　巻3　〃
◇外道忍法帖　巻4　〃
◇忍者H影抄　巻5　〃
　　巻6　〃

柔道剣道に参加を

毎週火曜日と土曜日の夜七時より九時まで（ただし第四火曜日は休みます）公民館ホールで柔道と剣道の練習会を開いております。

国体の年でもあります。私たちの身体のためにも若きも老いも、こぞってこの練習に参加下さい。

サンデークラブ員募集

募集予定者　女子で特に若い方

実習日　毎月第二金曜日第四火曜日の二回

会費　月二〇〇円

申し込み　二月末日迄

申込み先　小須戸町公民館

○細部については公民館でおたずね下さい。

皇居奉仕団参加者募集

期日　四月十四日より十七日まで（出発十三日夜行）

募集人員　五〇名

申込〆切　二月二十日（定員次第〆切ります）

細部については公民館でおたずね下さい。

新年句会

小須戸町俳句同好会

買い置きし野菜色失せ冬温し　芳人
役得で今日も明日もと新年会　一陽
子供スキー出して雪くる日を待てり　香月
温室に冬眠知らぬ蛙居て　虚秋
一本の銚子も残す年始客　渓灯
温まる間なき妻の座三カ月　水月
灯は消えて保母帰るらし寒の月　杏水
七種や鶏雑炊の夜となりぬ　ひさ
老妻のいただく真似のお屠蘇哉　喜雨
初霙そっと雨戸へ寄ってみる　紫川
珍しき雨のひと日や寝正月　竜朗
厄落し今宵の夢路早々と　流水